

チェックテスト 解答

0章 Introduction

1 発達障害領域の作業療法 (p.6)

①

広汎性発達障害，学習障害，注意欠陥・多動性障害などが含まれる。

②

発達途上。おおむね18歳ごろまで

③

通対象者の発達課題，ライフステージに応じたアプローチを展開する必要がある。

④

発達期に障害が発生すると，その影響はそれ以降の発達全体に及ぶ。そのため，さまざまな職種が多角的に関わり，チームでリハビリテーションを進めていく必要がある。

⑤

地域で暮らしている場合，対象児へのアプローチと同時に，家族が対象児とともに幸せに暮らしていけるよう援助する必要がある。